



### 元気よく牧場をあとに



10月19日から24日にかけて、町内にある公共育成牧場（湧洞牧場、トイトッキ牧場、二宮牧場）で預託牛の下牧が行なわれました。

5月下旬から入牧し、約5か月間を飼い主から離れた広い牧場で過ごして健康な体を作ります。

入牧時にはまだまだ小さかった牛たちも、大きく成長した姿で飼い主の元に引き取られていきました。



### 農村ホームステイに高校生ら



10月18日・19日、農村ホームステイ事業（受入主体：とよこ報徳ホームステイの会（小笠原茂人代表））で訪れた大阪府立牧野高等学校の2年生40名の生徒たちが、町内の農家、漁家に宿泊しました。

生徒たちは、豊頃町農業会館での入村式の後、それぞれの受け入れ家庭先に分かれ、ジャガイモの収穫や搾乳といった農業体験などをしました。

退村式では、生徒たちから「短い間だったが、大阪では体験できない、貴重な体験をすることができた」などの感想が聞かれ、ホームステイ先の家族との別れを惜しんでいました。

### 林家木久扇 落語会



10月2日、える夢館で平成29年度豊頃町文化芸術鑑賞事業はるにれ寄席（町教育委員会主催）が開催され、会場が満席になるほどの盛況ぶりでした。

寄席の前には、林家木久扇さん自ら「木久蔵ラーメン」を販売され、訪れた観客たちは大変喜んで購入していました。

落語の演目には、林家けい木さんの「禁酒番屋」に始まり、桂文治さんの「ラーメン屋」、鏡味正二郎さんの曲芸、林家木久扇さんの「明るい選挙」と並び、面白おかしい古典落語から、家族の温かさを笑いあり涙ありで語るものや身近な「選挙」という話題を盛り込んだ新作落語など、観客の笑いを誘っていました。

### 豊頃町社会福祉協議会「RUN伴+」開催



10月9日、RUN伴+（RUN伴+2017とよこ実行委員会主催）が開催されました。このイベントは認知症になっても安心して暮らせる町づくりを目指し、町内をオレンジのTシャツを着て、タスキをつないでいくものです。参加者は小雨が降る中、町内の約20か所を歩いたり、走ったりしてタスキをつなぎ、ひだまり交流館に全員でゴールしました。ひだまり交流館では、認知症啓発DVDの上映や脳トレコーナー、ミニ縁日なども行われ、子どもから大人まで楽しみました。また、大変人気の豊頃町社会福祉協議会のキャラクターであるトヨッピーの新しい着ぐるみが披露されるなど、参加者は大いに楽しんでイベントは終了しました。

### 豊頃町のサケを知ろう！



10月12日、豊頃小学校で豊頃小・大津小の6年生（22名）を対象に、大津漁協の中村哲蔵指導漁業士らを招き、「サケのフレーク作り」が行われました。児童らは中村指導漁業士から、サケの習性や構造、サケ漁の方法を学んだあとサケのフレーク作りに挑戦しました。児童らはサケを蒸したあと、



ほぐして炒め、できあがったフレークを食べた児童からは「（ほぐす作業など）大変だったが、おいしくできた」と感想が聞かれました。

### 大津小学校でクロソイ放流



10月6日、大津小学校の児童7名が総合学習の一環でクロソイの放流を行いました。これは魚への標識付けと放流体験を通して資源維持の大切さや命の尊さを体感することを目的としており、毎年、大津漁協協同組合の協力を得て行っています。大津漁港内にある漁協所有の種苗中間育成施設で児童らは、約9センチほどに成長したクロソイの稚魚へ標識付けの体験をした後、バケツに移した稚魚を漁港内へ放流しました。

▽はるにれは見ていた  
広報とよこ

議会だより

役場だより

▽はるにれは見ていた  
広報とよこ

議会だより

役場だより

